獣医師免許の申請関係書類

チェック欄	並べる 順番	書類名
☐	1	獣医師免許申請書
☐	2	獣医師国家試験合格証
☐	3	本籍地の記載のある住民票又は戸籍抄(謄)本
☐	4	医師の診断書
☐	5	申告書又は判決書謄本
(☐)	(6)	(「獣医師名簿登録票」及び「獣医師免許証送付票」) ※持っている方のみ

すべて原本。コピーは不可。

記入は、黒か青のインク又はボールペンを使用してください。

(鉛筆や消えるボールペンは使用できません)

送付にあたっては、角形2号封筒に1～6の順で重ねた上で、書類は折らずに入れてください。

書く前に、本籍地の記載のある 住民票 又は 戸籍謄本（抄本）をご準備ください！

※申請書に訂正がある場合は、二重線で訂正し訂正印を押してください。修正テープ等は使用しないでください。

獣医師免許申請書

申請書を作成した日

令和 ○年 ○月 ○日

農林水産大臣 殿

申請者氏名 大國 太郎

獣医師の免許を受けたいから獣医師法施行規則

第1条各号に掲げる書類を添えて申請する。

本籍地は、住民票 又は 戸籍謄本（抄本）のとおり記載

本籍地 (国籍)	都・道 鳥取 府・ <u>県</u>	当省から速やかかつ確実に連絡のとれる 携帯電話等の電話番号を記載すること	
現住所	郵便番号 100-8950	電話 080 - (0000) - 0000	
	都・道 東京 府・県 千代田区霞が関8丁目8番8号	現住所は住民票の住所を記載	
	メールアドレス XXX@XX.ne.jp		
(ふりがな) 氏名	おおくに たろう	生年月日	性別 <u>男</u> ・女
	大國 太郎	昭和 <u>平成</u> ○年○月○日	
旧姓又は通称併記の希望の有無	有 ・ <u>無</u>		
旧姓 ^{※1}		通称 ^{※1, 2}	
学歴	霞が関 大学 令和○年 3月 卒業		
	大学大学院 年 月 修了		
	その他		

※1 旧姓又は通称の併記を希望する場合のみ記載すること。

※2 通称は外国籍を有する者で、住民票に通称の記載がある場合のみ、免許証に記載可能。

収入印紙 32,000 円を
貼り付けること。
消印をしないこと。

日本政府の収入印紙を貼り付けること。消印しないこと。

獣医師国家試験合格証

(注意事項)

1. 原本を添付すること。
※コピーは不可。
2. 住民票の本籍都道府県と合格証記載の本籍地が異なる場合は、本籍地の変更履歴のわかる戸籍抄（謄）本が必要。
3. 合格証記載の氏名から変更となった場合は、氏名の変更履歴のわかる戸籍抄（謄）本が必要。
4. 戸籍と住民票の氏名欄の文字が異なる場合は、戸籍抄（謄）本が必要。
(戸籍上の氏名を獣医師名簿に登録するため)

本籍地の記載のある住民票又は戸籍抄（謄）本

(注意事項)

住民票（コピー不可）は、

- ①本籍地（日本国籍を有しない方にあつては、国籍）の記載があるもの
 - ②マイナンバー（個人番号）の記載のないもの
 - ③発行後6か月以内のもの
- に限る。

獣医師国家試験受験時から獣医師免許申請時までの間に本籍地都道府県または氏名に変更があつた方、及び戸籍と住民票の氏名欄の文字が異なっている方は、戸籍謄本又は戸籍抄本が必要。（コピー不可）

※診断書を訂正する場合は、発行者である医師の訂正印が必要です。
申請者の氏名・生年月日の修正であっても、申請者が訂正・訂正印の押印をした場合は、再提出になります。

診 断 書

氏 名

昭和 令和
平成 西暦 年 月 日生

上記の者について、下記のとおり診断する。
記

1 視覚障害	☒ なし	☐ あり
2 聴覚障害	☒ なし	☐ あり
3 音声機能・言語機能の障害	☒ なし	☐ あり
4 上肢の機能障害	☒ なし	☐ あり
5 精神の機能障害	☒ なし	☐ あり
6 麻薬、大麻又はあへんの中毒	☒ なし	☐ あり

いずれかにをしてください

【注意事項】

※ 必ずどちらかにを記載してください。

※ 1～5について、獣医師の業務を行うにあたり支障がないと診断した場合は、「なし」を選択してください。

なお、既往歴があっても、業務を行うにあたり支障がないと診断した場合は「なし」を選択してください。

※ 1～5について、「あり」を選択した場合は、「7 特記事項」を記載してください。特記事項について、本診断書に記載できない場合は、別途、任意の様式により診断書を作成しても差し支えありません。

- 7 特記事項 (①病名、②当該者が現に利用している障害を補う手段又は当該者が現に受けている治療があればその具体的内容、③業務への支障の程度、④その他特記事項 等)

発行日～申請日が1ヶ月以内であること

年 月 日

病 院 名

所 在 地

病院名、所在地、医師名、印が記入されているか確認すること

医 師 名

印

(参考法令)

○ 獣医師法 (昭和二十四年法律第百八十六号)

(免許を与えない場合)

第五条 次の各号のいずれかに該当する者には、第三条の免許を与えないことがある。

- 一 心身の障害により獣医師の業務を適正に行うことができない者として農林水産省令で定めるもの
- 二 麻薬、大麻又はあへんの中毒者

(略)

2 前項各号のいずれかに該当する者から免許の申請があつたときは、農林水産大臣は、獣医事審議会の意見を聴いて免許を与えるかどうかを決定しなければならない。

○ 獣医師法施行規則 (昭和二十四年農林省令第九十三号)

(心身の障害により獣医師の業務を適正に行うことができない者)

第一条の二 法第五条第一項第一号の農林水産省令で定める者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 一 視覚、聴覚、音声機能若しくは言語機能又は精神の機能の障害により獣医師の業務を適正に行うに当たつて必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者
- 二 上肢の機能の障害により獣医師の業務を適正に行うに当たつて必要な技能を十分に発揮することができない者

(障害を補う手段等の考慮)

第一条の三 農林水産大臣は、獣医師の免許の申請を行つた者が前条に規定する者に該当すると認める場合において、当該者に免許を与えるかどうかを決定するときは、当該者が現に利用している障害を補う手段又は当該者が現に受けている治療等により障害が補われ、又は障害の程度が軽減している状況を考慮しなければならない。

※申告書に訂正がある場合は、二重線で訂正し訂正印を押してください。
修正テープ等は使用しないでください。

申 告 書

申請書を作成した日

年 月 日

農林水産大臣 殿

氏名及び生年月日の記入漏れに注意

氏 名 大國 太郎

昭和
平成 ○年 ○月 ○日生

獣医師法第5条第1項第3号の規定に関し、下記のとおり相違ないことを申告します。

記

罰金以上の刑に処せられたことがない。

※過去に罰金以上の刑に処せられたことがある場合(刑法第27条及び第34条の2により刑が消滅している場合を除く)、裁判に対応した検察庁又は本籍地を管轄する検察庁発行で刑の確定年月日が記載されている判決謄本(コピー不可)を提出してください。

判決書謄本

(注意事項)

過去に罰金以上の刑に処せられたことがある場合（刑法第27条及び第34条の2により刑が消滅している場合を除く）、裁判に対応した検察庁又は本籍地を管轄する検察庁発行で刑の確定年月日が記載されている判決謄本（コピー不可）を提出すること。（罰金刑に処され刑の執行から令和元年10月22日の前日までに3年以上経過している者については、即位に伴う政令恩赦の対象となります。）

注：罰金刑とは、例えば、道路交通法の場合、いわゆる赤キップ以上の刑です。反則金（青キップ）は、罰金刑には該当しません。

注：獣医師免許交付申請者が罰金以上の刑に処せられたことがある場合は、獣医師法第5条第2項の規定に基づき獣医事審議会の意見を聴いた上で免許の付与を農林水産大臣が判断しますので、免許付与までに相当の期間がかかる場合があります。

裁判中で刑が確定していない場合は、その旨を担当者まで連絡すること。